

令和元年度 大阪府立西寝屋川高等学校 第2回学校運営協議会

日時 令和元年10月30日(水)

14:00~16:00

場所 本校 校長室

<学運運営協議会委員>

協議会委員：近藤（摂南大）、原田（自治会）、小林（八中）、松元（PTA）、
沖中（後援会）、田中（キャリア）、

事務局：清水（校長）、池田（教頭）、丸橋（事務長）、権藤（首席）、
中島（首席）

1. 校長挨拶

2. 授業見学（約30分間）

3. 授業見学についての意見交換

- ・プロジェクターを使用して、細かく指導されていた。しかし、部屋を暗くしていたからか、寝ている生徒が気になった。
- ・板書は小学校の教員が最も丁寧で、中学高校の教員はそれがおろそかになりがち。より丁寧な板書を心がけることが大切ではないか。
- ・子どもたちが頭と体を使って、より活動的に行う授業を考えてほしい。また、授業における子どもたちとの会話でも、教員は言葉遣いを意識する方がよい。
- ・以前（約8年前）の西寝屋川高校の授業風景に比べると、格段に雰囲気は良くなっており、授業がきちんとしている。
- ・プリントを使用する授業が多いのが気になった。
- ・ただ答えを聞いて写すだけのプリントではなく、生徒の色んな考えや意見を書かせるようなプリントにすれば良い。
- ・グループ活動等の工夫をしている授業は、生徒の雰囲気も良い。
- ・先生が色々と工夫をして授業をしている。自分たちの時に比べると今の生徒は幼いように感じる。

- ・寝ている生徒や私語をしている生徒、授業に関係のないものを机の上に置いてある生徒に対する指導は徹底すべき。

4. 新入生アンケートについて

- ・アルバイトをしている人数が減り、生徒の学習時間が増えている。
- ・アルバイトや学習時間などは、それに限定したより簡素なアンケートにして、定期的に実施し、年度毎や時期毎の統計をとってみても良いのではないか。

5. 協議項目

①新入生アンケートの活用について：

- ・この新入生アンケートの結果を受けて、その結果をどのようにとらえて、またその総括をどう行うかが大事。
- ・「高校での目標」の欄に「勉強を頑張る」や「留年しない」「友だちを作る」は多いが、「将来の夢」としての記述がとても少ない。西寝屋川高校に入学することが目標で、その先の目標を持っていない生徒が多く、キャリア教育をどうしていくかが大事。

6. その他

- ・西寝屋川高校の特色については、進学校や工業高校のように、進学や就職に特化しているわけではないが、多様な進路に対応しており、それをしっかりと指導できる体制が整っているところにある。

7. 次回協議会について

第3回 2月 本年度まとめと次年度について